

テーマ「きずきましよう 学ぶ心とゆたかな文化を」

# 伊達市民憲章作文コンクール

伊達市民憲章作文コンクールは、平成29年度から実施し、今年度で4年目を迎えます。今年は市内の小学5、6年生と中学生を対象に作品を募集しました。小学生の部383点、中学生の部148点の応募があり、11月の審査会で22点の受賞作品が決定しました。

選ばれた作品はどれも素晴らしく、生涯を通して学び続けられる教育環境や、地域の伝統文化を引き継いでいくことへの思いなど、伊達市をより良くするために自分にできることを一生懸命考えている作品が多くありました。その中から、各部の最優秀賞に輝いた作品をご紹介します。

☎ 総務課行政経営係 ☎ 575-1111

**伊達市民憲章 (抜粋)**

- まもりましよう  
ふるさとの自然と歴史を
- つなぎましよう  
世代の絆とたしかな信頼を
- そだてましよう  
支えあいと思いやりの気持ちを
- きずきましよう  
学ぶ心とゆたかな文化を
- めざましましよう  
すこやかで活力のあるまちを

佳作	
狗飼 梨央	小国小 6年
橘 太一	堰本小 5年
渡邊 友悠	上原原小 6年
高木 梨央南	月舘学園小 6年
齋藤 彩音	桃陵中 3年
遠藤 蒼斗	松陽中 3年
引地 美乃梨	桃陵中 2年
佐藤 百夏	梁川中 1年

優良賞	
遠藤 和奏	伊達小 5年
穴戸 美香	伊達小 6年
岡崎 心優	梁川小 5年
遠藤 蒼依	梁川小 6年
三浦 天寧	霊山中 1年
熊坂 栄那	月舘学園中 1年
笹原 琉愛	月舘学園中 3年
八巻 愛香	伊達中 3年

最優秀賞	
ダッフィー佐藤 エイデン志恩	保原小 5年
須田 玲菜	霊山中 3年
優秀賞	
佐藤 茉波	掛田小 5年
小林 はるの	掛田小 6年
齋藤 りおん	月舘学園中 2年
橘内 優菜	梁川中 3年

## 小学生の部 最優秀賞 受けつぐ文化



保原小学校 5年  
ダッフィー佐藤  
エイデン志恩さん

ぼくがアメリカに住んでいた時は、毎年、夏になると地元で行っていた日本の祭りに行っていました。辺りに音が響き渡り、すごく迫力があつたことを覚えています。そして四年前、アメリカから保原町へ引っ越ししてきて、初めて保原町の太鼓祭りを見ました。沢山の山車が出ていて、クラスの友達がその山車を引いていたり、太鼓をたたいていたりして、楽しくお祭りに参加していました。そんなみんなの姿を見て、ぼくもぜひ、やって

みたいと思いました。二年生になった夏、念願の太鼓祭りに参加しました。祭りの日まで家の近くにある集会所を練習場にして、地域の方々から太鼓のたたき方をじっくりと教えていただきました。太鼓をたくバチの持ち方から始まり、たくリズムの取り方、たたいているときの構えと本当にいろいろな事をおじさんや中学生のお兄さんたちが教えてくれたので、最初は戸まどいながら太鼓をたたいていたのですが、練習を重ねるにつれて、自信を持って

たたくことができるようになってきました。そして、太鼓祭りの当日、あれほど練習したのに、太鼓をたたきながら歩いているとリズムが狂ってしまい、何とかリズムを取ろうとすると歩きの忘れてしまつてとてもむずかしかったです。でも、そんなぼくを見に来てくれた家族や友達が声をかけてくれたり、手を振ってきたりして応援してくれました。家族や友達、見物に来てくれた人達が一緒に祭りを作り上げていく感じがして、とてもうれしかったです。終わつたときは手が痛くなつたけど、やり通すことができたので気持ち良かったです。もっと練習をして、もっと上手になりたいと思いました。

アメリカでは、地域の人たちと力を合わせて伝統的なお祭りを行ったり、次の世代の人たちに教えたりすることは、そうめつたには負けないくらい勉強になると私は思います。また私は、地域の人の会話から学んだことがたくさんあります。一年生の福祉体験や二年生の職場体験で、地域の方と話すことができました。中でも、戦時中の話がとても印象深く残っています。

このように、人は毎日何かを「学んで」生きています。それは年代など関係なくみんながそうであると思います。一日一日を振り返った時に、学んだことは無いという人はいないはずなんです。どんなに小さな事です。でもそれは学びとなります。だからたくさんの人に、身近なところから「学ぶ」との楽しさを、日常生活でもっと意識して味わってほしいです。そして、伊達市民みんなで築いていきましょう。「学ぶ心」を。

## 中学生の部 最優秀賞 学習を学習へ



霊山中学校 3年  
須田 玲菜さん

みなさんには「学ぶ心」がありますか。こう聞かれて思うことは人それぞれだと思えます。例えば、「私は勉強するのは嫌いだから、そんな心があるわけがない」

そう思った人もいるかもしれません。勉強することとは、机と向かい合って字を書いたり教科書を読んだりすること、大半の人がそう思っているのではないのでしょうか。ですが、本当にそれだけが勉強なのではないか。私はそうではないかと思えます。

私は勉強とは「自分の知らない事を知る」ということだと考えます。日常生活において、新しい事を学ぶ機会は実は身近な所にいろいろあります。その中でも読書はとて

も身近で、手軽に生涯に渡り学ぶことのできるパートナーです。私は小さい頃から読書に親しみ、今でも学校や家で読書をする機会があります。その中で、自分の知らない世界にたくさん出会ってきました。そして、その世界について学ぶことは、学校の授業に

たたくことができるようになってきました。そして、太鼓祭りの当日、あれほど練習したのに、太鼓をたたきながら歩いているとリズムが狂ってしまい、何とかリズムを取ろうとすると歩きの忘れてしまつてとてもむずかしかったです。でも、そんなぼくを見に来てくれた家族や友達が声をかけてくれたり、手を振ってきたりして応援してくれました。家族や友達、見物に来てくれた人達が一緒に祭りを作り上げていく感じがして、とてもうれしかったです。終わつたときは手が痛くなつたけど、やり通すことができたので気持ち良かったです。もっと練習をして、もっと上手になりたいと思いました。

たたくことができるようになってきました。そして、太鼓祭りの当日、あれほど練習したのに、太鼓をたたきながら歩いているとリズムが狂ってしまい、何とかリズムを取ろうとすると歩きの忘れてしまつてとてもむずかしかったです。でも、そんなぼくを見に来てくれた家族や友達が声をかけてくれたり、手を振ってきたりして応援してくれました。家族や友達、見物に来てくれた人達が一緒に祭りを作り上げていく感じがして、とてもうれしかったです。終わつたときは手が痛くなつたけど、やり通すことができたので気持ち良かったです。もっと練習をして、もっと上手になりたいと思いました。

たたくことができるようになってきました。そして、太鼓祭りの当日、あれほど練習したのに、太鼓をたたきながら歩いているとリズムが狂ってしまい、何とかリズムを取ろうとすると歩きの忘れてしまつてとてもむずかしかったです。でも、そんなぼくを見に来てくれた家族や友達が声をかけてくれたり、手を振ってきたりして応援してくれました。家族や友達、見物に来てくれた人達が一緒に祭りを作り上げていく感じがして、とてもうれしかったです。終わつたときは手が痛くなつたけど、やり通すことができたので気持ち良かったです。もっと練習をして、もっと上手になりたいと思いました。

たたくことができるようになってきました。そして、太鼓祭りの当日、あれほど練習したのに、太鼓をたたきながら歩いているとリズムが狂ってしまい、何とかリズムを取ろうとすると歩きの忘れてしまつてとてもむずかしかったです。でも、そんなぼくを見に来てくれた家族や友達が声をかけてくれたり、手を振ってきたりして応援してくれました。家族や友達、見物に来てくれた人達が一緒に祭りを作り上げていく感じがして、とてもうれしかったです。終わつたときは手が痛くなつたけど、やり通すことができたので気持ち良かったです。もっと練習をして、もっと上手になりたいと思いました。

たたくことができるようになってきました。そして、太鼓祭りの当日、あれほど練習したのに、太鼓をたたきながら歩いているとリズムが狂ってしまい、何とかリズムを取ろうとすると歩きの忘れてしまつてとてもむずかしかったです。でも、そんなぼくを見に来てくれた家族や友達が声をかけてくれたり、手を振ってきたりして応援してくれました。家族や友達、見物に来てくれた人達が一緒に祭りを作り上げていく感じがして、とてもうれしかったです。終わつたときは手が痛くなつたけど、やり通すことができたので気持ち良かったです。もっと練習をして、もっと上手になりたいと思いました。